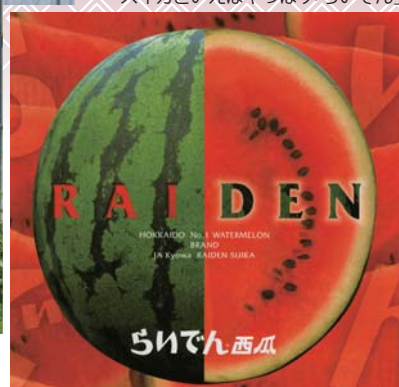




畑で顔をのぞかせるスイカ

スイカといえばやっぱり「らいでん」



北海道が誇る高級スイカ

らいでんスイカ

きょうわちよう
北海道共和町
地図 E

積丹半島の西の付け根に位置する共和町の特産品のひとつである「らいでんスイカ」は、北海道一の出荷量を誇る、甘くて高品質のスイカです。スイカ栽培の歴史は古く、50年以上前から栽培が行われ、その味が好評だったため本格的な栽培が始まりました。清涼感に溢れるシャープな甘みとシャリッとした食感が特徴、その果汁が喉を潤します。出荷時期は毎年6月初旬から10月まで。夏の旬の味として親しまれています。

DATA

【お問合せ】きょうわ農業協同組合 ☎0135-74-3011
【URL】<http://www.ja-kyouwa.jp>

電源地域情報ひろば

特産品 開発情報



ごま・くるみ・醤油のたれで食す『うーめん三昧』

白石のソウルフード

しろいしうーめん 白石温麺

しろいし
宮城県白石市
地図 F

DATA

【お問合せ】奥州白石温麺協同組合 ☎0224-25-0124
【URL】<http://www.shiroishi-umen.com/top.html>

白石を代表する郷土の味覚が「白石温麺」。その歴史は古く江戸時代とされ、胃病の父を心配した孝行息子が、旅の僧から油を使わない麺を伝授されたのが発祥とされています。この話を聞いた殿様が、心温まる麺ということで『温麺（うーめん）』と名付けました。

温麺は市内の多数の飲食店で味わうことができ、市では毎月7日を「白石温麺の日」と定めています。奥州白石温麺協同組合直営店『やまぶき亭』では、今夏新メニューの鴨せいろなど、温冷多彩なメニューをご用意してお待ちしております。



奥州白石温麺協同組合直営店『やまぶき亭』の外観

開発された 新・長井名物
『馬肉ラーメン肉まん』

黄色いキッチンカーでの
移動販売行っています



新・長井名物 片手で食べられる

馬肉ラーメン肉まん

ながい
山形県長井市
地図 G

山形県置賜地方の長井市では、昔から馬肉料理を食べる独特の文化があります。3年前、地域で名物を作ろうと異業種のメンバーが集まり、試行錯誤して生まれたのが『馬肉ラーメン肉まん』。片手で食べられる馬肉ラーメンを再現するため、ラーメンと同じく、馬肉チャーシュー・麺・メンマ・ネギが入って、さらに頭に乗っているナルトがポイント。一口食べれば納得の味です。その後、異業種のメンバーが株式会社を設立し、商品の販売や開発を担い、地域の味を守っています。

DATA

【お問合せ】株式会社アイデアのおもちゃ箱 ☎0238-88-1320
【URL】<http://www.idea-toybox.net/index.html>

漬物にしても栄養豊富

野沢菜

のざわおんせんむら
長野県野沢温泉村
地図 H

野沢温泉村は全国的に有名な野沢菜の発祥地です。野沢菜は他の野菜と違い、漬物にしてもその栄養素がほとんど減少しないのが特徴で、ガン予防に効果があるというビタミンAは漬物にすることで増加します。

この特産品の野沢菜を使って、全国の漬物好きの人達との交流を図り、村の魅力作りにつなげようと設立されたのが『のざわな無四季會社』。株主ならぬ『無主』になると、野沢温泉で漬け込んだ野沢菜が宅配されるほか、洒落とユーモアを活かした特色あるイベントへの参加など、様々な特典を受けられます。



『無主』は野沢菜収穫を体験できます

特産の野沢菜漬け



地元お母さんたちの手作り

美濃白川産大豆100%のとうふ

岐阜県白川町
地図①

岐阜県白川町では集落営農組織によって、耕作放棄地の管理や水田の転作が進められてきました。転作作物の主体は大豆です。佐見地区では女性起業グループ「佐見とうふ豆の力」が、大豆と佐見川のきれいな水を使い、豆腐、油揚げなどの大豆製品を手づくりしています。豆腐は大豆の味が濃く、すぐに完売してしまうほどの人気です。

今年4月には農家カフェ『Soia』がオープンし、大豆製品や地元産野菜を使った朝食メニューやスイーツも楽しむことができます。



美濃白川産大豆100%のとうふ・大豆製品

DATA

【お問合せ】佐見とうふ 豆の力
☎0574-76-2688

ニジマスの新ブランド

あかふじ
紅富士

静岡県富士宮市
地図①

ニジマスは北米原産の川魚で「サーモントラウト」とも呼ばれており、明治初期に日本に伝来しました。富士宮市では昭和8年に、県水産技術研究所富士養鱒場が開設され、富士養鱒協ではニジマスの新ブランドとして『紅富士』を開発しています。緻密な飼料管理により脂分は控えめで、身の色は鮮やかな紅色。市内でニジマス料理を楽しめる店舗や宿泊施設は、50ヶ所近くに上ります。さっぱりとした味わいで、刺身にするとコリコリとした食感が楽しめますので、ぜひ味わってみてください。

DATA

【お問合せ】富士養鱒協同組合 ☎0544-26-4167
【URL】<http://fujiyoson.com>



鮮やかな紅色の刺身 ニジマスの新ブランド『紅富士』

もちもちで栄養豊富

もち麦

兵庫県福崎町
地図①

福崎町の特産品は、大麦の一種である「もち麦」を素材とする数々の商品です。「もち麦」は穀類の中でも高タンパク、高ミネラルで、βグルカンという食物繊維の含有率が高いため、ダイエット食品としても注目されています。もちむぎ麺、もちむぎ素麺『福の糸』、もちむぎカステラ、お茶などの加工品があり、町内の『もちむぎのやかた』では、こうした商品が販売されています。平成6年のふるさと全国食品フェアで、この「もち麦」を使用した麺が「食品流通局長賞」を受賞しており、「ひょうご推奨ブランド」にも認証されています。



もち麦



もち麦を使ったざるうどん

DATA

【お問合せ】株式会社もちむぎ食品センター
☎0790-22-0569
【URL】<http://www.mochimugi.jp/>

特産の「幻の魚」をPR

カマガリバーガー

大分県臼杵市
地図①

水産業の盛んな臼杵市で「幻の魚」と言われている「カマガリ」。豊後水道の水深200~300mの深海で獲れ、どんな料理法でも合うクセのない味わいから、知る人ぞ知る名魚といわれています。「ご飯をカマ(釜)ごと借りて食べなくてはならないほど美味しい魚」ということから、カマガリと名付けられたそうです。その「カマガリ」を使用して、臼杵市や県、県漁協臼杵支店、観光関係者らが共同で「カマガリバーガー」を開発しています。



臼杵市の特産「カマガリ」



カマガリバーガー

DATA

【お問合せ】ミルキースター
☎0972-63-1133





関所で手形改め体験をする参加者



白い花を咲かせたソバ畑の中を歩く

町の一大イベント

第31回わらじで歩こう七ヶ宿

宮城県七ヶ宿町
地図 N

藩政時代に奥羽13大名の参勤交代や「出羽三山詣」などで、旅人や商人が往来した山中七ヶ宿街道約11kmの道のりを、わらじを履き旅人気分でのんびり歩くイベントです。参加者が履くわらじは、すべて地元の方による手作り。道中には当時の賑わいが再現された関所や茶屋があり、岩魚の塩焼きや麦茶、果物などのおもてなしもあります。前日の8月26日(土)には旅の安全を祈願した「七ヶ宿火まつり」が開催され、東北最大級の採燈大護摩供や山伏行列、打ち上げ上火花が催されます。

DATA

【開催日】8月27日(日)【受付場所】七ヶ宿町役場
【開催場所】七ヶ宿スキー場～七ヶ宿町役場
【参加申込・お問合せ】七ヶ宿町観光協会
(七ヶ宿町役場ふるさと振興課内) ☎0224-37-2177
※ご参加には事前申込が必要です
【URL】<http://www.town.shichikashuku.miyagi.jp/sightseeing/>

こだわりの作品が勢ぞろい

創造の森・上野村フェスティバル

群馬県上野村
地図 O

森林に囲まれ、昔から林業や木工が盛んな上野村。県外からも木作家が移住しアトリエを構えています。上野村フェスティバルでは、上野村在中の木作家だけでなく、全国から多くの作家が参加し、生活用品から芸術性の高い作品までを一堂に展示・即売します。

森の緑のなか、木工芸家たちとのコミュニケーションを楽しむこともできるのも魅力のひとつ。

作品を手作りできるワークショップや、上野村特産のグルメが並ぶテント村も人気です。



緑のなかでの木工作品の展示・即売



リース作り体験コーナー

DATA

【開催日】9月16日(土)・17日(日)
【会場】天空回廊・まほーばの森
【お問合せ】上野村商工会 ☎0274-59-2254
【URL】<http://www.uenomura.ne.jp/ueno2254/>

みる 演じる ささえる

いいだ人形劇フェスタ2017

長野県飯田市
地図 P

毎年8月上旬に飯田市で開催されている日本最大の人形劇の祭典です。国内外で活躍するプロの劇団から、アマチュア・学生劇団まで、そして現代人形劇から伝統的な「人形芝居」まで。様々なスタイルの人形劇が一堂に会し、市内が人形劇一色になります。

多くの人形劇が、市街地だけでなく飯田市全域の公民館や集会所などで行われ、市民と人形劇団が交流しながら、一緒に祭典を運営しています。いいだ人形劇フェスタは、市民と人形劇団がともにつくる人形劇の祭典です。

人形と劇団員がまちを練り歩く「わいわいパレード」

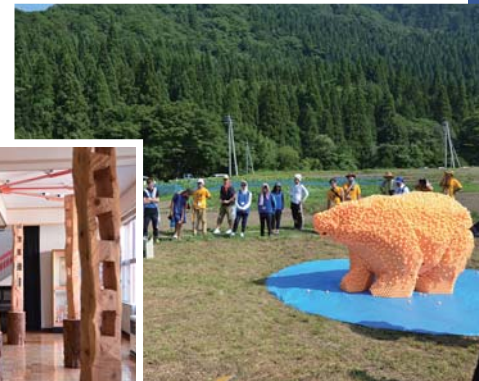
DATA

【開催日】8月1日(火)～6日(日)
【会場】飯田市内各地の上演会場
【お問合せ】いいだ人形劇フェスタ実行委員会事務局
☎0265-23-3552
【URL】<http://www.iida-puppet.com/index.html>



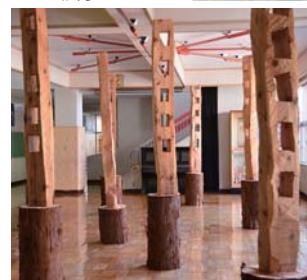
電源地域情報ひろば

イベント情報



原っぱのとアートの融合

廃校を利用した
アート展示



田舎の風景とアートの融合

かみこあにプロジェクト

秋田県上小阿仁村
地図 M

廃校や棚田を活用したアートイベント「かみこあにプロジェクト」が、今年も上小阿仁村で催されます。アートを通じて多様な世代の人たちと交流しながら、地域活性化を目指す取り組みです。

イベントには県内外の作家や秋田公立美術大学の学生ら23人が彫刻、絵画、写真、オブジェを使った現代アートなどを出品します。田舎の風景とアートの融合はまさにここでしか出会えないもので、その魅力に多くの人が足を運んでいます。

DATA

【開催日】8月5日(土)～9月17日(日)
【会場】八木沢会場(集落内、旧八木沢分校)、
沖田面会場(旧沖田面小学校)
【お問合せ】上小阿仁村総務課 ☎0186-77-2221
【URL】<http://www.vill.kamikoani.akita.jp>

大型人形劇のステージは大迫力!





グランプリ作品と受賞者たち



チーム一丸となって製作に打ち込む



地域住民が作り上げた巨大燈籠



孔雀が翼を広げた姿の打ち上げ花火『彩雲孔雀』

巨大燈籠と花火の競演

2017きほく燈籠祭

三重県紀北町
地図 R

東紀州の夏の夜を、巨大燈籠と花火の競演で彩る『きほく燈籠祭』が今年も開催されます。

この祭りのために、地域住民が夜な夜な集い巨大な燈籠を作り上げます。海上に巨大燈籠が浮かぶ様子は、「海のねぶた」と称されるほどの勇壮さ。燈籠と共に夜空を彩る打ち上げ花火も、祭りの見どころのひとつです。特に、孔雀が大きく翼を広げた姿の打ち上げ花火『彩雲孔雀』は、ここでしか見られない花火です。

来場者も製作者も、ともに感動を分かち合うこの祭りに、ぜひお越しください。

DATA

【開催日】7月22日(土) ※雨天順延
【会場】紀北町・長島港
【お問合せ】紀北町燈籠祭実行委員会
☎080-8705-2612
【URL】http://touroumaturi.com/

炎天下の芸術コンテスト

みずなみ陶土フェスタ

岐阜県瑞浪市
地図 Q

日本を代表する「陶器のまち」岐阜県瑞浪市。「クレイオブジェ・コンテスト」は、約1tの粘土を使い、高さ1m以上2m未満の巨大オブジェを作り上げるイベントです。真夏の炎天下、昼夜を問わず参加者はチーム一丸となって粘土と格闘します。制限時間の48時間いっぱいをかけて、粘土が芸術作品へと作り変えられていく様子は、観客の感動を呼び起こします。この夏は“陶器のまち”岐阜県瑞浪市で最高の思い出を作ってみては？

DATA

【開催日】8月4日(金)～6日(日)
【会場】瑞浪市寺戸町 市道公園線
【お問合せ】みずなみ陶土フェスタ事務局
☎0877-24-8816
【URL】http://www.facebook.com/MizunamiToudofesta

館内を彩る「かまぼこ板の絵」
(写真提供:ギャラリーしろかわ)



西予市立美術館
ギャラリーしろかわ
(写真提供:ギャラリーしろかわ)



小さな板に描かれたアート

第23回全国「かまぼこ板の絵」展覧会

愛媛県西予市
地図 S

食べたあとは捨ててしまう、かまぼこ板。そんなかまぼこ板をキャンバスにした「かまぼこ板の絵」を全国から募集し展示する展覧会が、今年も7月から「西予市立美術館 ギャラリーしろかわ」にて開催されます。

今年の展示テーマは「感動ひろがる、ここから広がる。」です。「ギャラリーしろかわ」が窓口になり、全国から寄せられた小さな「かまぼこ板の絵」に込められた感動を皆様へ届けます。

全国から寄せられた8,978点の作品を全て展示しますので、ぜひお越しください。

DATA

【開催日】7月15日(土)～12月3日(日)
【毎週火曜日休館。火曜祝日の場合はその翌平日休館】
【会場】西予市立美術館 ギャラリーしろかわ ☎0894-82-1001
【お問合せ】西予市立美術館 ギャラリーしろかわ ☎0894-82-1001
【URL】http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/s-gallery/

大自然の中でスローな夜を

やまんなか音楽会 in はなせ

鹿児島県錦江町
地図 T



色とりどりの竹燈籠

DATA

【開催日】8月18日(金)・19日(土)
【会場】錦江町田代地区
【お問合せ】錦江やまんなか協議会
☎0994-25-2511(錦江町観光交流課)
【URL】https://ja-jp.facebook.com/yamannaka.music.fes/

「やまんなか音楽会」は、地域資源である竹を活用しようと始まったイベントです。花瀬川の川床を、3,000本の竹灯籠と500本のペットボトルキャンドルでライトアップし、幻想的な光の空間の中、川床の舞台の上で、癒しの音楽が奏でられます。そして、締めくくりに打ち上げ花火と豪快なナイアガラ仕掛け花火が舞う、光と水と音がふんだんに盛り込まれた壮大なイベントです。

幻想的な川床のライドアップ



掲載のご希望がございましたら、電気のふるさと編集室(☎03-6372-7305 E-mail: furusato@dengen.or.jp)までお知らせください。
掲載費用が発生することはありません。(編集の都合上、掲載できない場合がございますことを予めご理解願います)